



きゅうと

VOL. 3

NO.4

2009.3



おしやれな椅子、あります。
芸術工学図書館へ。



CONTENTS

- つなぐ 人と本をつなぐ図書館
- 資料紹介 芸術工学図書館所蔵の20世紀の椅子について
- 自著紹介
- NEWS
- 図書館に読みたい本がないときはリクエストしよう
- 図書館のウェブサイトが、さらに見やすく使いやすくなりました!
- 図書館員のおしゃべりコラム



人と本をつなぐ図書館

総合理工学府 先端エネルギー理工学専攻 博士後期課程1年 萩原 公平



瀬戸内寂聴氏の源氏物語。読み応え十分です。この棚の源氏物語は全巻揃っていることが多いのですが、この記事を読んで借りる人が現れてくれると嬉しいです。

に興味を引くタイトルがあれば、借りて読むようになりました。本が読みたいから図書館に行くのではなく、図書館に行くから本を読むといったところですね。つまり、私の場合、図書館という場が私と読書とを結び付けていたわけです。

こういう時代だからこそ 本を手にとって

最近ではインターネットの普及が進み、読書はより親しみやすくなってきたと思います。ネット小説という新しいスタイルも定着しつつあり、多くの方が気軽に楽しむようになりました。人気がある小説などに関する情報が簡単に入手でき、また、ネットを通して気軽に本を購入することも可能です。しかし、本の魅力に惹かれるという点については、書店や図書館の方が勝っているのではないのでしょうか？ドアをくぐればそこには数多くの本があり、お目当ての本に限らず、実際に手に取って試し読みも出来るわけです。きっと思いがけない発見や、出会いがあることでしょう。(今ではネット上で書籍の試し読みができ、近い将来丸ごと一冊読めるようになるわけですが、検索するジャンル外の本のタイトルをクリックすることはあまりないと思います。)そして実際に手に取って読むとき、本を視覚以外で感じるができるからです。その本の重み、古い本を開いた時の独特のにおい、それらが読み手にぬくもりを感じさせると考えています。

本とのつきあい

突然ですが、皆さんは本とどのようにつきあっていますか？通学などの移動時間や待ち時間に読む人が多いと思いますが、なかには就寝前や入浴中、毎日時間を作って読んでいる人もいらっしゃるでしょう。単に読書好きの人もいれば自己啓発のために読んでいたり、その目的もジャンルも人それぞれだと思います。

私を読書に誘(いざな)ってくれた図書館

幼いころから地図や図鑑を眺めていた私は、小学生時代には親に連れられ月に数回図書館に通っていました。そのときには歴史上の人物や恐竜の本、そして子供向けの短編小説などを良く借りたものです。中学生になると、毎年学校の図書委員になっていましたが、本の貸し出し業務をしていると、当然周りにたくさんのお本が置いてあるわけですから、自然と手が伸びました。そのころは推理小説を中心に読んでいました。しかし、高校に進学すると共にインターネットが身近なものになり、さらに部活動に打ち込み、読む本といえば教科書や参考書程度で私の足は自然と図書館から遠ざかってしまいました。大学に入ってから、通学に片道2時間かけていたにもかかわらず、講義のレポートを作成するのに必要な資料を探すこと以外で図書館に行くことがほとんどなかったため、本を借りて読もうという考えは全く浮かびませんでした。しかし、大学院に進学し筑紫分館の夜間カウンター業務をするようになってからは、たまに返却された本の中

ず、実際に手に取って試し読みも出来るわけです。きっと思いがけない発見や、出会いがあることでしょう。(今ではネット上で書籍の試し読みができ、近い将来丸ごと一冊読めるようになるわけですが、検索するジャンル外の本のタイトルをクリックすることはあまりないと思います。)そして実際に手に取って読むとき、本を視覚以外で感じるができるからです。その本の重み、古い本を開いた時の独特のにおい、それらが読み手にぬくもりを感じさせると考えています。

読書、再び

高校進学以来、勉強や研究以外の目的で本を読む頻度が減っていた私ですが、最近また本を読むようになりました。今度のきっかけはなんと外国人の友人にある著名な日本人作家の小説を勧められたことです。情けないというか、さすがに私もあせりを感じ、日本人の作品くらい読んでおかないといけないと発奮しました。目標は好きな作家、本を見つけることで、まず有名な作品から手当たり次第に読んでいます。あと、源氏物語誕生千年(正確にはその存在が文献上で初めて現れてからだそうです)に因んで、源氏物語を読破中です。これはたまたまテレビで源氏物語が今年で千年になることを知った後に図書館の本棚の源氏物語が目に入り、読み始めたのです。ほらね、図書館に行くっていいことですよ？



芸術工学図書館所蔵の20世紀の椅子について

芸術工学図書館では、図書資料だけでなく、ミース・ファン・デル・ローエのバルセロナチェア等、20世紀の椅子を所蔵しています。芸術工学図書館では椅子達にも実際にふれあえます。



**SECONDA
セコンダチェア**

1982年、建築家マリオ・ボッタ(スイス)によるデザイン。スチールパイプとゴム引きによる幾何学的フォルムはスタイリッシュで、1980年代のデザインを象徴している。



**BARCELONA
バルセロナチェア**

1929年、ミース・ファン・デル・ローエ(ドイツ)によって、バルセロナ万国博覧会のドイツパビリオンのためにデザインされた。スペイン国王夫妻臨席のための特別な椅子で、オリジナルは白の山羊革が張られていた。



**WASSILY
ワシリーチェア**

1927年、マルセル・ブロイヤー(ハンガリー)によるデザイン。スチールパイプを使用した世界初の椅子で、バウハウスを代表する作品である。



**CN102
LOUNGE CHAIR
ラウンジチェア**

1960年、ジョージ・ナカシマ(アメリカ)によるデザイン。西洋の憩いの空間のためにデザインされたものであるが、和モダンにも調和する。日本の伝統的木工技術が活かされている。



**ZIG ZAG CHAIR
ジグザグチェア**

1934年、ヘリト・トーマス・リートフェルト(オランダ)によるデザイン。デ・ステイルを代表する建築、シュレーダー邸のために作られた。まるで一枚の板を折り曲げたようなユニークな形態である。



**ARMCHAIR 41/
PAIMIO
アームチェア 41/パイミオ**

1930年、アルヴァ・アアルト(フィンランド)によるデザイン。パイミオのサナトリウム(結核患者のための療養施設)設計時に、ラウンジチェアとして作られた。背から座は一枚の成形合板で、それ自体のたわみによりクッションの役割を果たす。



**WIGGLE SIDE CHAIR
ウィグルサイドチェア**

建築家フランク・オーウェン・ゲリー(カナダ)によって、1969年~1973年に発表された「Easy Edges シリーズ」の代表的な椅子。「Easy Edges シリーズ」は、ダンボール製の14種の家具からなる。芸術工学図書館にあるものは、公開講座で作成したものである。

自著紹介 本学教員より寄贈いただいた著作です。ぜひ読んでみてください



人文科学研究院教授 宮本 一夫

「遼東半島四平山積石塚の研究」

澁田正一, 小野山節, 宮本一夫編
柳原出版 2008.3



1941年に日本学術振興会が主催して中国遼東半島の四平山積石塚を発掘調査した。爾来60年以上に亘ってその調査内容は明らかにされてこなかった。発掘した出土品は現在京都大学総合博物館に収蔵されているが、その内容が本書によって公開された。黒陶の安定同位対比分析など今日の新たな科学的手法も加味しながら、紀元前2400年頃の山東半島から遼東半島への農耕民の移住を明らかにしている。その移住は農耕伝播の実態を示すものであり、同時に移住民と在来民の交配によって生まれる新たな社会組織の出現であった。これは、単に遼東半島における農耕化過程を明らかにしただけでなく、その後の日本列島にもたらされる弥生農耕の起源を探る研究でもあったのである。

[中央図書館に所蔵]

数理学研究院教授 若山 正人

「技術を支える数学：研究開発の現場から」

九州大学大学院数理学研究院, 九州大学産業技術数理研究センター編
日本評論社 2008.8



本書は、産業界において技術開発に携わっておられる、あるいは大学において(数学とは)異なる分野で、数学を本格的に用いて研究を進めておられる方々による、生きた研究の紹介を目的としています。

わが国ではまた、欧米諸国に比べ、数学を学び研究に没頭した経験のある人材の、社会での活躍は多くありません。企業などでの研究開発においては、数学の役割はともすれば表面に見え難いものです。しかしその重要性についての認識を深めることは、いつ役立つかの予測はむずかしいもの、おそらく科学技術の発展にも不可欠だと考えています。

[中央図書館/芸術工学図書館/理系図書館に所蔵]

経済学研究院教授 堀江 康熙

「地域金融機関の経営行動：経済構造変化への対応」

ISBN: 9784326503100 堀江康熙著 勁草書房 2008.8



地域金融機関の行動を地域経済との関わりの中で分析することを旨とする。第I部は、地域経済と金融活動に関してマクロ的に分析する。近年、地域間および地域内の経済格差が構造的に拡大している。これには、産業構造の変化や高齢化の進行が響いていることを指摘するとともに、金融機関の貸出行動が大きく影響していることを指摘する。第II部は、地域金融機関の行動に関して、ミクロ的な視点から分析する。まず、収益構造や企業との関係の変化を明らかにし、それを踏まえて地域銀行および信用金庫について、貸出行動の特徴や営業地盤の影響、合併を巡る諸問題を解明する。

[文系合同図書室に所蔵]

健康科学センター教授 山本 和彦

「The Ethical Structure of the Albanian Customary Law」

ISBN: 9789995620271 Kazuhiko Yamamoto著 Tirana: Botimet "Almera" 2008

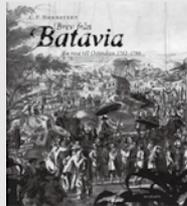
本書は、2005年にアメリカで出版された「The Ethical Structure of the Kanun and its Cultural Implications」に3論文と1インタビューを加えた改訂第2版である。アルバニアで入手が難しい第1版に対する読者の関心は高く、わずか3年で改訂第2版をティラナで出すことになった。世界に散らばる700万のアルバニア人にとって慣習法カヌンはアイデンティティの根幹をなす文化の一つであり、今日のアルバニア人社会、アルバニア国家のあり方に大きな陰を投げかけている民族の重要テーマの一つである。比較文化的視点からカヌンに切り込んだ本書は、ローカルな慣習法をユニバーサルな時空に一気に解き放つロジックとして注目を集めている。

[中央図書館に所蔵]

言語文化研究院教授 Wolfgang Michel

「Brev från Batavia : En resa till Ostindien 1782-1786」

ISBN: 9789515831606 Christina Granroth [et al.]
Helsingfors: Svenska litteratursällskapet i Finland 2008



ケンブリッジ大学のグランロズ講師の依頼を受け、ツンベリーの弟子C・F・ホルンステットが1785年に東南アジアからスウェーデンへ持ち帰った一連のスケッチを調べたところ、日本学者として名高い出島商館長ティツィングが、京都の典業荻野元凱から受け取った「鍼灸極秘抄」(安永9年刊)の写しであることが判明した。ティツィングの資料は19世紀初頭にフランスで起こった鍼術ブームの折に、「中日伝統医学の典型」として紹介されたが、底本の著者木村元貞は、むしろ西洋の瀉血法と東洋医療の融合を目指した異色の医師だった。異文化交流にありがちな「落とし穴」の事例は、豪華なスウェーデン語版で刊行されたが、英語版の出版も予定されている。

[六本松分室に所蔵(4月より利用可)]

人間環境学研究院教授 八尾坂 修

「教員免許更新制度」

ISBN: 9784180455188 八尾坂修著 明治図書出版 2008.5



2009年開始の「教員免許更新制度」をめぐる論点、基本的枠組み、具体的運用上の特色から、受講や免除の対象、修了認定基準といった制度についてのQ&A、カリキュラム設計、更新講習内容例、アメリカにおける教員免許更新制を、詳しく解説しました。免許更新制が1からわかる、教育関係者必読書です。

[中央図書館/文系合同図書室に所蔵]

芸術工学研究院教授 中村 滋延

「現代音楽×メディアアート：音響と映像のシンセシス」

ISBN: 9784873789804 中村滋延著 九州大学出版会 2008.10



音楽は聴覚芸術であるが、西洋においてそれが芸術として発展してきたのは、音学的確に視覚化しえたということに要因がある。本書は、この聴覚と視覚の関係に焦点を絞り、20世紀以降の音楽を音の視覚化の面から論述している。かつて視覚化は楽譜という紙媒体のみでなされてきたが、トーキー映画が出現して以来、音の視覚化はフィルムやビデオ、パソコン画面などにおいても実現されるようになってきた。このことを踏まえ、音・音楽を軸にメディアアートについても論じている。

[中央図書館/芸術工学図書館/理系図書館(4月より利用可)に所蔵]

芸術工学研究院教授 石村 眞一

「自家製味噌のすすめ：日本の食文化再生に向けて」

ISBN: 9784639020714 石村眞一編著 雄山閣 2009.1



本書は6名で分担執筆したもので、衰退する日本の自家製味噌の現状を、どのようにすれば打開できるかという点に的を絞り、つくるといふ行為の楽しさを歴史的な事例も含めて論じたものである。対象とする読者は、味噌づくりをしたいと考えているが、なかなか実践できない人達で、特定の地域や人をターゲットにしているわけではない。自家製味噌の復活には日本型生活が不可欠であり、食物自給率の向上と地域の食文化の継承に少しでも役立てていただければ幸いである。

[芸術工学図書館に所蔵]

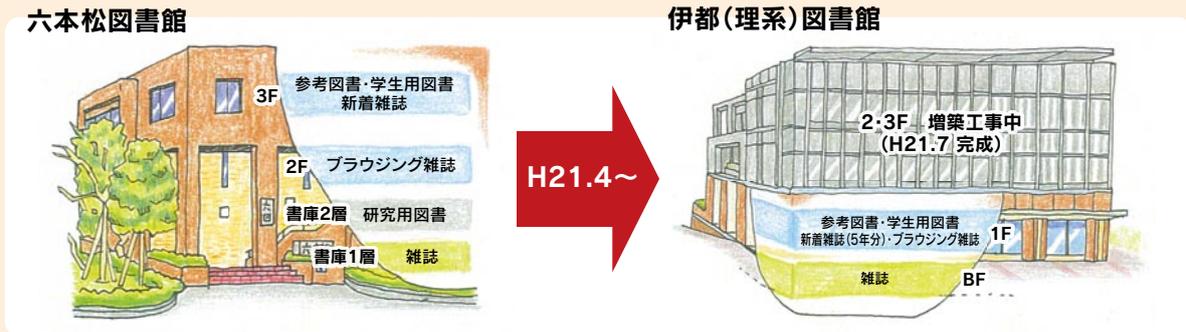
NEWS

理系図書館は4月から「伊都図書館」となります

伊都キャンパスの「理系図書館」では、六本松地区移転に伴い、4月より新たに全学教育、比較社会文化研究院・学府、言語文化研究院、高等教育開発推進センター等へとサービスを拡大します。そこで、これまでの「理系図書館」を改め「伊都図書館」とすることになりました。7月末には増築工事も完成し、10月よりリニューアルオープンの運びとなります。

どうなる？伊都キャンパスの図書館③ 六本松図書館の資料はどうなるの？

六本松図書館は2月18日をもって閉館しました。資料は伊都図書館（現・理系図書館）に移転します。今回は、六本松図書館の資料がどうなるのか、ご紹介します。



理系図書館の増築が半年遅れたことにより、書庫2層の研究用図書は半年間このまま残ります。六本松図書館は伊都図書館六本松分室として限定的に開室し、館内での資料利用、他キャンパスからの取り寄せが可能です。

開室期間：4/1～8/31
開室時間：月～金 9:00～17:00 土・日・祝 10:00～17:00

12月末より理系図書館の増築工事がはじまりました。期間中は工事の進捗に伴い一部図書館の利用が制限されることがありますが、その場合は随時掲示板やウェブサイト等でお知らせします。利用者みなさまには工事期間中大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

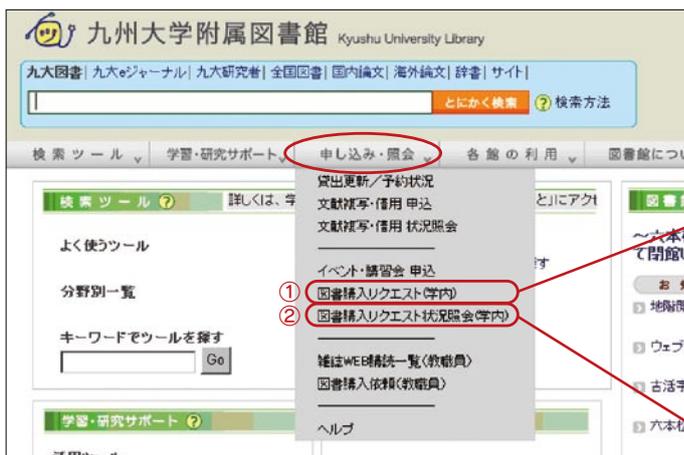
理系図書館の自動書庫がパワーアップ

2008年8月から始まった自動書庫の増設工事が10月、無事終了しました。工事期間中、利用者の方々には大変ご迷惑をおかけしました。今回の増設により収蔵能力は、40万冊から80万冊に増え、現在、35万冊が収蔵されています。自動書庫は、年々増え続ける図書館資料を書庫空間いっぱい効率よく収納保管し、利用者からのリクエストに対して、迅速かつ確に自動出納する、画期的なシステムです。



図書館に読みたい本がないときはリクエストしよう

- ①まずはここからお申し込みください。
図書館のウェブサイトから図書館で買ってほしい本をリクエストできます。
図書館ウェブサイト>申し込み・照会>図書購入リクエスト(学内)
- ②申し込んだ後はリクエスト状況照会をチェックしましょう。
購図書の購入決定、到着日を確認できます。到着したら、メールでもお知らせします。
図書館ウェブサイト>申し込み・照会>図書購入リクエスト状況照会(学内)

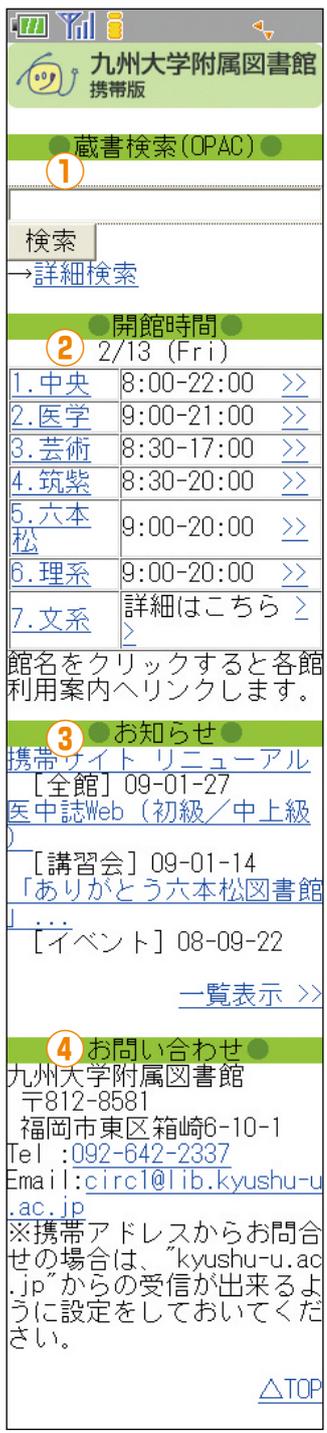


①図書購入リクエスト(学内)

用 (Request No.)	申込日 (Application date)	タイトル (Title)	著者 (Author)	出版社 (Publisher)	状態 (Status)	到着日 (Arrival date)
既読 (Read)	2009/02/05	書籍「ユートピア」理論と現実からみた身体	宮村 英樹	南無堂	-	
既読 (Read)	2009/02/05	書籍「ユートピア」理論と現実からみた身体	宮村 英樹	南無堂	-	
既読 (Read)	2009/02/19	雑誌九州「大正浪漫」雑誌と雑誌の世界	宮田 幸一	海鳥社	○	
既読 (Read)	2009/02/17	雑誌「文芸春秋」の歴史	三浦 浩	中央図書	○	2009/02/02
既読 (Read)	2009/02/17	シンポジウム「クアパヘン/カニアアンの文化理解」	村上 隆	マイエ	○	

②図書購入リクエスト状況照会(学内)

※図書の購入可否は、各館の蔵書構築基準に基づき判断いたします。また、安価なもの、高額なもの、継続的なものなど購入できない場合もあります。



図書館ウェブサイトが、 さらに見やすく使いやすくなりました!

その1 モバイルサイト一新!



<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/m>

- ① **九大にある図書や雑誌を検索**
あの本、九大にあるかな?
- ② **開館時間を確認**
みつけた本を借りに行こう。今日は何時まで開いてるのかな?
- ③ **お知らせをチェック**
今度開催の講習会は、役に立つかも!
- ④ **お問い合わせ**
そうだ、図書館に聞いてみよう!

その2 PCサイトも使いやすくなりました!



たとえば「とにかく検索」!

検索タブを選択+キーワード入力して「とにかく検索」ボタンを押すだけで、必要な情報(検索結果)を表示します。
*キーワードなしで検索ボタンを押しても、選択したタブのサイトへリンクします。

- 九大図書 **OPAC**
九大所蔵の図書・雑誌、電子ジャーナル・ブック...
- 国内論文 **Cinii**
国内で出版された雑誌の論文情報
- 九大eジャーナル **E-Journals**
九大で利用可能な電子ジャーナル
- 海外論文 **SCOPUS**
世界の学術誌に収録された論文情報
- 九大研究者 **研究者情報**
九大に所属する研究者のプロフィール、業績
- 辞書 **weblio**
国内の340以上の辞書・百科事典
- 全国図書 **Webcat Plus**
全国の大学等が所蔵する図書・雑誌
- サイト **九州大学附属図書館**
図書館ウェブサイト内

図書館員の おしやべり コラム

医学図書館の参考調査係に、平成20年7月に異動になりました。
ここに質問に来られる方で一番多いのは、雑誌に掲載された「References」(参考文献)を示して、この論文が見たいという方です。その場合は、図書館ホームページの検索ツールから、PubMed(九大版)を選ぶことをお勧めしています。サイドバーから「Single Citation Matcher」を選び、誌名やファーストページなどを入力すると、かなりの確率で求める論文がヒットします。
そこからLinQボタンをクリックして「きょうとLinQ」メニューに行き、「Full-text via Online」と表示されていれば、電子ジャーナルにより本文を入手することが出来るのです。図書館ホームページから選べるほとんどの検索ツールは、この「きょうとLinQ」メニューにリンクしています。
それに、今は「どこでもきょうと」を使って、自宅からだって大学内と同じようにデータベースが使えるわけですから、「これを知らないのは、ホントに、本当にもったいない!!」と思うのです。
日本語の医学論文をお探しなら、もちろん「医中誌Web」も使えます。他学部の方も、ご自分の研究テーマにあった検索ツールが必ずあると思います。
こんなにいい環境にあるのだから、それを使い尽くさない手はないと思うので、皆さんもぜひ活用してくださいね。
(医学図書館 K.A.)

